

令和5年度 美術科 <第1学年> 年間指導計画と評価規準

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第1学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の動きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

第1学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能

思は、思考・判断・表現

主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	自分の色をつくろう ～十二色相環～ <5時間>	《デザイン》 1 色の見え方 2 三原色を使って、作りたい色をつくる	知 決められたマスの中に美しく収まるように丁寧に塗ることができる。 ムラのない均一な色で塗ることができる。 色の性質や、色名、色料の三原色を理解している。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
			思 三原色の性質を理解し、作りたい色に応じて混色の度合いを予想できる。 授業内容を具体的に振り返り、自分の課題を見つけることができる。	
5	絵具を使った表現技法とその活用 <7時間>	《表現・絵画》 1 絵具を使った表現技法 2 モダンテクニック 3 「見本を見て描く」を通じた技法の活用	主 三原色の性質に気が付いて、積極的に作りたい色を作ることができている。また作ろうと試行錯誤している。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
			知 技法を理解し、表現の意図に応じて使うことができる。 思 技法の特性を見極め、表現に生かすことができる。	
6	鑑賞との出会い 「真珠の耳飾りの少女」 <2時間>	《鑑賞》 1 絵画作品とどのように向き合えばいいのか 2 登場人物について考える 3 フェルメール 「真珠の耳飾りの少女」	思 描かれてある人物の表情やしぐさ、構図などから自分なりに作品についての考えを言える。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、作品から読みとったことを言葉で表現することができる。	定期テスト 授業態度 鑑賞ワークシート
			主 積極的に絵から読み取れることを、見つけることができる。 登場人物の心情について友達と意見交換し自分の考えを深めることができる。	
7				

8	夏の課題 日本の伝統模様 ～広がる文様の世界～	1 日本の伝統模様を調べ 2 オリジナルの文様制作	知 思 主	様々な伝統模様の意味や成り立ちについて理解することができる。オリジナルの文様を丁寧に描くことができる。 調べた文様の形や自ら見つけた形をバランスよく組み合わせようと試行錯誤している。文様のインスピレーションの元となった対象の特徴を捉えられている。 日本の伝統文様に興味をもち、伝統文様の成り立ちや意味を具体的に調べ、オリジナル文様に生かそうとしている。また着色にも工夫がみられる。	定期テスト 作品
9	窓を彩るステンドグラス風切り絵 <9時間>	《工芸》 1 西洋からきた光のアート 2 ステンドグラス作品を作る	知 思 主	ステンドグラスの歴史や制作方法を理解することができる。光のアートの特徴を生かした美しい作品を作ることができる。 完成イメージをもって、色や形の組み合わせを自分なりに表現することができる。 光を通すことで完成するステンドグラスに興味をもって、試行錯誤しながら制作している。自分や友達の作品の良さや美しさを感じとることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
10					
11	文字のデザイン <9時間>	《デザイン》 1 レタリングの基礎 2 オリジナル絵文字を作る 3 平面と立体の融合 (紙粘土で立体装飾)	知 思 主	レタリングとは何か、技術を理解し、表現することができる。オリジナル絵文字を美しく作ることができる。 漢字から連想されるイメージを元に、構想を立てることができる。作品の中に、効果的に立体を組み合わせ、オリジナルの絵文字を形にすることができる。 自分や友達の作品の良さや美しさを感じとることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
12					
	じっくり見ると見えてくるもの <3時間>	《絵画》 1 初めてのデッサン 2 鉛筆の使い方 3 色鉛筆の使い方	知 思 主	対象の特徴、印象、形、質感などを、線の強さや明暗、色彩を工夫して立体的に描くことができる。 身近なものの特徴や美しさなどをとらえ、形や色彩、質感などをどのように表現したらいいのか考え、試行錯誤している 身近なものの特徴や美しさなどを描いてみることに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。自分や友達の作品の良さや美しさを感じとることができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、自分の課題を見つけ、次に生かそうとしている	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
1	琳派の伝統の継承 「風神雷神図でみる」 <3時間>	《鑑賞》 1 俵屋宗達～鈴木其一 「風神雷神図」	知 思 主	違う時代に、なぜ同じように描かれた「風神雷神図」が存在しているのか考えることができる。 それぞれの風神雷神図の特徴や表現の工夫の違いや共通点を見つけ、言葉で表現することができる。自分の考えや友人の考えをきいて、より作品の見方・考え方を広げることができる。 それぞれの風神雷神図の表現のよさや美しさに関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組むことができる。授業を具体的に振り返り、気づきや学び、日本文化の造形的な視点について考えたことを言葉で表現している。	定期テスト 授業観察 鑑賞ワークシート
2	人物クロッキー (発展：人物デッサン作品制作)	《絵画・表現》 1 クロッキーとは 2 モデルをクロッキーする 3.じっくり時間をかけて描く	知 思 主	クロッキーとは何か、どんな意味があるのか理解することができる。短時間(10分程度)で人物の形を捉えることができる。人物の頭と身体のバランス、骨格を意識したクロッキーができる。 人物をみて、ポージング、腰の角度、関節の位置に注目して描こうとしている。 自分の作品と参考作品を比較して、自分の作品の改善点を見つけ解決策を見出そうとしている。	定期テスト 作品 授業観察 振り返りシート
3	<7時間>				

